



# 第十七回

## ダーナバザー

平成二十年八月二十四日(日)

楠 幸治

西本願寺高岡会館礼拝堂にて第十  
七回ダーナ・バザーが開催されま  
した。今回のダーナ・バザー開催にあ  
たり、昨年四月、JVC（日本国際  
ボランティアセンター）代表理事の  
谷山博史さんをお招きして、報告会  
を開きました。お話の中で、戦争か  
ら五年目を迎えた現在、イラクやア  
フガニスタンは出口の見えない泥沼  
の状況にあるとお聞きしました。米  
軍や外国軍による「対テロ」掃討作  
戦の中から無実の民間人が多数殺傷  
され、その憎悪から新たな「テロ」  
を生み出す悪循環にあるということ  
です。もはや戦争の意義そのものが  
破綻し、そのなかから避難民が急増  
し、医師の不足、教育や労働力の不  
足を訴えておられました。

私自身、バザーはこれまでに何度  
か経験しましたが、今回のバザー実

行委員長を務めさせていただくにあ  
たり、正直、解らない事ばかりで、



会場内の様子

会員同士の意見を出し合い、時に  
は諸先輩方の意見を聞き自分自身  
の考えと照らし合わせながらの作  
業でした。

また今回、初めての試みとして、  
JVCから谷山由子さんに参加協  
力を賜り、アフガニスタンの衣装  
展示・刺繍即売や写真展示・映像

上映をし、少しでもアフガニスタ  
ンの状況を知っていただくことを目  
的として企画いたしました。



東京から来て下さった谷山由子さん

バザー当日は天候にも恵まれ、多  
くの方々にお越しいただき、たくさ  
んの収益をあげる事が出来ました。  
それらはJVC及び県内十ヶ所の福  
祉作業所に支援金として送らせてい  
ただきました。この場を借りて、高  
岡教区各ご寺院、当日ご参加いただ  
いた寺族青年会OB・OG、福祉作  
業所の方々、龍谷高校の生徒・OB・  
OGの皆さんのご協力に対して厚く  
御礼申し上げます。

# 基幹運動研修会

平成二十年十二月二十二日

耳浦 康真

今年度は「靖国が問いかけてくる  
もの」をテーマとして、氷見組の光  
照寺ご住職である富樫行慶さんをご  
講師にお迎えして西本願寺高岡会館  
礼拝堂で開催されました。

ご講師の富樫さんは、太平洋戦  
争で戦死して、その後靖国神社に  
英霊として合祀された実父の合祀  
取り消しを要求する訴訟を起こさ  
れた体験をお話しになり、そこか  
ら見えてくる日本の「天皇を頂点と  
した一大家族」という血脈主義や、  
「天皇制という国体の護持のための  
殉国の精神」などの問題点を、仏教  
最古の經典『スッタニパータ』に述  
べられている釈尊の教えや『歎異  
抄』などに述べられている法脈と比  
較してお話くださいました。

その後、映画『靖国—YASU  
KUNI—』の一部分で、合祀取り  
消しを求めて遺族が活動されてい



富樫さんを囲んでの座談会

るシーンを観賞しました。その中で、「戦死者は遺族のものでなく国のものであるから靖国神社に英霊として祀る」という国家神道的な考え方によって戦死者は遺族が望まなくても靖国神社に合祀されている現実や、「戦死者の遺族は、怒りや憎しみや悲しみなどの行き場の無い感情を国にぶつけないのに、戦死者に叙勲などをして遺族に無理やり納得させてさらにその感情の行き場を迷わせる」といった遺族の感情を押さえ込むような国の対応について述べられていま

最後にご講師の富樫さんを囲んで、座談会を行いました。今回は順番に全員が質問できる時間があったので、座談会らしい、ざっくばらんな寺青会員の質問や意見、ご講師の富樫さんのお話を聞く事ができました。



## 浄青僧の 研修会を受けて

- 第一回 五月二六日(月)
- 第二回 九月一九日(金)
- 第三回 十一月二日(金)
- 第四回 一月二四日(土)

青木 哲隆

浄青僧全国大会に向けて当会では、事前研修会を開催した。第一回はハンセン病基礎講座と題して、基礎知識を発表し学んだ。ハンセン

病という病気やハンセン病問題とは何なのか、またハンセン病回復者の方々が療養所でのような生活をしておられたのかなど、パワーポイントを使って学習した。初めて知ることばかりで、特に、隔離政策の実態には衝撃を受けた。

第二回は大谷派の石川正穂さんをお招きして、ご講演いただいた。このとき私たちは、国立ハンセン病療養所・多磨全生園の真宗報恩会で歌い継がれてきた「しんらんさまは懐かしい」に出遇った。

第三回は国立駿河療養所・神山復生病院を見学・交流してきた寺青会員と聞き手のディスカッション形式で行われた。これもパワーポイントを使用し、実際に行つて撮られた写真などを使い、非常にわかりやすく話していただいた。

第四回は大会本番で発表する基礎講座をもう一度見直し、大会リハーサルを行った。ここで活発な意見交換が行われ、大会本番にむけて鸞翔会会員の意志統一がされたと思う。

私自身、およそ八年前の国陪訴

訟で「ハンセン病」という病気がクロージアップされていたのは知っている。しかし、今回の学びまで知っているのは本当に病名だけだった。知らないことが多すぎた。無関心は罪だ。同様に「知ったつもり」もまた罪だ。いま自分に出来ることは、この学びを周りの人に伝えていくこと。今回の研修会及び、全国大会で無関心であった「ハンセン病問題」が「私の問題」になった。



第二回研修会の様子

# 浄青僧

## 第二十二回 全国大会 in 高岡

平成二十二年二月十九日(木)・二十日(金)

向田 永朗

「大会は成功でしたか？」と尋ねられると、答えに窮する。

二〇〇九年二月十九・二〇日の二日間にわたり、鸞翔会担当で開催した浄土真宗青年僧侶連絡協議会(略称・浄青僧)第二十二回全国大会には、前回担当した第十五回大会の約二倍の参加者が集まった。数の上では成功と言えるのであろう。



実行委員会の様子

初日の、実行委員によるハンセン病問題基礎講座、菊池恵楓園在住のハンセン病回復者・阿部智子さんの講演、叔父に伊奈教勝さんというハンセン病回復者を持たれた大谷派僧侶で同朋大学大学院教授の中村薫さんの講演、どれも評判が良かった。この講演のもようは、その日の内に県内ニュースとして取り上げられた。



阿部智子さん講演会

懇親会アトラクションでは、講演時とは一八〇度異なる雰囲気を作り出す事に成功し、参加者の緊張が解れていくのを肌身で感じる事が出来た。



ぶり大根に舌鼓・お座敷での懇親会

二日目の班別討議については、原稿執筆段階では、まだ議事録が無いため何とも言えないが、この大会の性質上、必要不可欠であったのは間違いない。



それぞれの部屋に分かれての班別討議

他にも『しんらんさまは懐かしい』の唱和、会場を『雨晴温泉 磯はなび』に設定したこと等に、肯定的な意見を寄せてもらっている。

しかし、それでも「大会は成功でしたか？」と問われると答えに窮するのは、今大会のテーマが『共に生きる』だからである。『共に生きる』ことが、大会が終わると同時に、参加者の心からも消えてしまったのは、今大会は失敗なのだ。



大会終了後、勝興寺へ参拝

私は、大会の成功を目指して、これ  
からも皆さんと一緒に『共に生きる』た  
めの模索をし続けていきたい。

## 神山復生病院、国立駿河療養所訪問

清水 了涉

2008年10月1日～2日、ハンセン病問題ふるさとネットワーク富山主催の療養所訪問で、静岡県にある神山復生病院、国立駿河療養所に行ってきました。

日本最初のハンセン病専門病院である復生病院では、入所者の藤原さんにお話を聞かせていただきました。私が、藤原さんのお話で驚いたことは、ここでは生活のため施設の外に出るなどの自由があったとおっしゃられていたことです。私立の施設は国立の施設と違うのかという印象を受けました。しかし、夜の懇親会の時に、ご案内していただいたカトリック神父の浜崎さんのお話を聞いて、また驚かされました。浜崎さんによると、藤原さんは、嘘の話をされているのではないけれども、藤原さんにも立場があり、言えないこともあるし、私立だからと言ってすべてが自由だったのではないとのことでした。すべての話を鵜呑みにしない方がいいと教えて下さいました。



また、駿河療養所は、療養所内を一回りするだけで疲れるぐらいの斜面に療養所があり、まさに療養する施設というより隔離するための施設であったような印象を受けました。この療養所の問題として療養所の将来についての不安があるとお話も、聞かせていただきました。



神山復生病院礼拝堂



駿河療養所



納骨堂

# 各サークル 活動報告

## 声 明サークル

代表 岡田 覚

声明サークルでは、一年を通じて月二回程度のペースで声明の練習を行っています。

今年度も、毎年恒例となった「井波別院永代経」へ向けての練習からスタートしました。これまで、作法の難度を徐々に上げてきたこともあり、四度目となる今回は満を持して「無量寿経作法」を勤めることになりました。作法としては比較的有名ではありますが、実践してみると、その難しさに戸惑うことばかりでした。善興寺さんの永代経に出勤させていただいたり、井波別院をお借りして修礼を繰り返し、本番に臨みました。最高の出来とは言い難かったかもしれませんが、出勤者からは「来年も同じ作法で」という前向きな声も聞こえました。

また、「親鸞聖人を語る夕べ」では音楽法要に参加しました。音楽法要は需要も増えているようで、興味のある方も多いのではないのでしょうか。それから、通常練習ではリクエストに応じて七条袈裟の被着をしたりもしました。

声明専門とはいえ、守備範囲が広いサークルですので、これからも上手く利用していただいて、実践的なサポートができればと思っています。

## 手 話サークル

代表 岡部 柰子

ここ近年、活動内容がさまざまなる事情により手話劇から手話コーラスへと変化してきました。

今年度は川上組から連研履修者と子供たちを対象にした法座活動に出演依頼があり、手話を交えたゲームと寺青OBバンドとのコラボレーションで手話コーラスを行いました。寺青OBバンドの生演奏にのせた『世界に「つだけの花」』の手話コーラスは誰もが耳慣れた曲だったので参加者全員に楽しん

でもらえたように感じました。手話に触れたことのない人にも手話を知ってもらえる良い機会をいただけたと感謝しております。

また、昨年度から引き続き、ろう者劇団「おんによる座」の脇坂菊雄さんをお招きして月二回程度活動をしています。来年度は日常会話を手話で話せるよう、さらに練習を積み重ねていきたいと思っています。そして、手話コーラスや手話劇とは違った形で手話に興味を持ってもらえるような事も考えているところです。

手話に少しでも興味のある方の参加お待ちしております。

## 蓮 花の会

代表 飛鳥 千春

今年度の活動は大きく二つ、八月のダーナバザーに向けて不要な布タオルを使つてのECO雑巾づくり、そして三年目になる第三回歎異抄勉強会の開催でした。

ECO雑巾づくりは、不用になったものをすこし加工して、ダーナバザー売上の足しにしようと会員

のアイディアから行われました。日頃無縁な針仕事をおしゃべりしながらチクチクと縫う作業がとても楽しく、しかし手間がかかるものだなあと実感しました。

歎異抄勉強会は故菊地真由美さんが三年前に、「年三回、公文名真さんをご講師に、歎異抄を勉強したい!」と懇願されたことから始まりました。それから三年。年一回ずつの開催でようやく第三回目を迎えました。三回目を終えて初めて、お念仏の道を真剣に問い続けられた真由美さんの強い想いに気づかされました。自らの救いとその救いを共有しようとされた強い想いに動かされ、つねに、まづ生死の問題を考えよというメッセージをいただきました。



# 新入会員の紹介

新入会員の方にインタビューしました。

- ① 趣味または特技
- ② 苦手なものは？
- ③ 何か一言



射水組 光源寺  
土合 真祐さん

- ① ギターを弾くこと 剣道三段
- ② ジェットコースター
- ③ あまり顔を出しておりませんが、仏教を学びたい気持ちは常にもっておりまます。どうぞよろしくお願ひします。



関野組 慶圓寺  
北嶋 淳英さん

- ① 無趣味（改めて考えると何も出てきませんでしたが）
- ② 一番苦手な食べ物はエビです。
- ③ 今後とも宜しく御願ひ致します。



氷見西組 願正寺  
瀧山 志穂さん

- ① 音楽鑑賞
- ② むし
- ③ よろしくお願ひします



伏木組 光西寺  
射水 梓さん

- ① 読書、手芸、ゲーム等
- ② 両生類とねりものです。
- ③ あまり活動に参加できないかもしれませんが、がんばります。よろしくお願ひします。



五位組 廣濟寺  
福田 慶隆さん

- ① 旅行
- ② 車の運転
- ③ もう今年からはぶつけません。よろしくお願ひします。



関野組 長楽寺  
篠島 敏信さん

- ① 飲酒
- ② 芋、栗、南瓜、餅、虫
- ③ 仲良くしてやって下さい。



関野組 長楽寺  
篠島 麻子さん

- ① 絵画鑑賞
- ② 蛾、計算
- ③ できるだけ参加させていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。



新湊組 妙蓮寺  
増山 考琢さん

- ① ゴルフ・書道
- ② ホラー映画
- ③ よろしくお願ひします。



射水組 誓光寺  
菊地 瑞也さん

- ① フットサル・ゴルフ・サーフィン・パソコン
- ② ピーターン
- ③ よろしくお願ひします。

# 退会の言葉



若神組 善興寺  
飛鳥 寛静さん

振り返ってみると、あつという間の5年間でした。いろんな経験をさせていただき、みんなには感謝しています。これからの鸞翔会が楽しみです。いつでも気軽に声をかけてください。有り難う。



関野組 蓮乗寺  
楠 幸治さん

気付いたら、あーら！もう退会でした。色々な経験をさせてもらい、そして、たくさんの方々に出会い、今後も含めた大切なつながりを持つ事が出来た様に思います。本当に有難うございました。



五位組 法善寺  
武部 淳示さん

退会の言葉：今思えばもっと参加できればと悔いが残るばかりです。これからはOBとして参加していきたいと思ひます。ありがとうございます。



## 新入会員募集

高岡教区寺族青年会では  
随時新入会員を募集しています。  
気軽に参加しませんか。



ホームページ

<http://www.ranshokai.jp>

ホームページ  
随時更新中!!



発会三十周年記念報告集  
「共に生きるいのちとは」  
—私の中で動き出す  
ハンセン病問題— 発売中  
一冊、五〇〇円。  
お問い合わせは高岡教区教務所  
☎二二一〇八八七または  
<http://www.ranshokai.jp>まで。

## 法輪せんべいのご案内

法輪せんべいは、当会が販売する法輪マークと法語が印された一袋二枚入りのおいしいせんべいです。ご法要のお供えにお茶受けやご贈答などに幅広くご利用いただけます。（※表示してある価格は、いずれも販売価格です。）



パッケージはサクラと  
若草色の二色です。



写真上は大箱（45袋入り）2,000円

品目	袋数	価格
特大	170	7,000円
大箱	45	2,000円
小箱	16	900円

お申し込み、お問い合わせは 〒933-0003 高岡市能町1298 本誓寺内  
耳浦 康真まで ☎/FAX(0766) 23-9822



皆様、有難うございました！

このメンバーでの二年間に  
渡る広報活動は、任期満了に  
伴い終了致しますが、色々と  
課題が見えた期間だったと振  
り返ります。

後々の部員がその課題を踏  
まえ、また新しい情報伝達の  
手段を展開していければと期  
待致します。

今年度は鸞翔会にとって、  
多くのイベントが行われた年  
でした。

われわれ広報部員としまし  
ても、すべての内容を記事に  
してお届けしたいところで  
すが、今回は厳選させて頂き  
ました。いかがでしたしょう  
か？

## 編集後記